

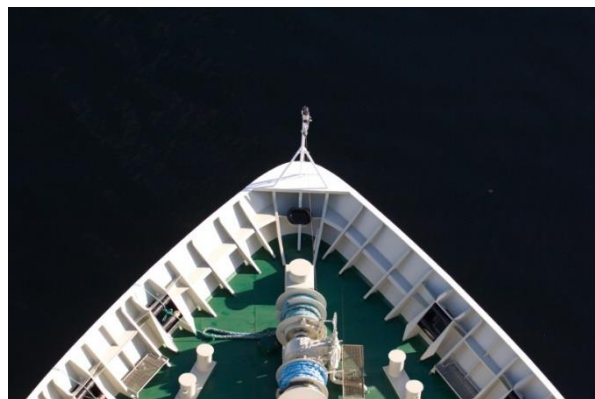
## Gard Alert

# 米国がイランに対する制裁を完全に再開

こちらは、英文記事「[US sanctions on Iran fully back in force](#)」  
(2018年11月5日付)の和訳です。

### 猶予期間が終了し、米国はイランに対する二次的制裁を完全に再開しました。

既報のとおり、米国は2018年5月8日、イランの核開発に関する共同包括行動計画(JCPOA)から離脱しました。これは、イランに対する米国の制裁(非米国人に適用される制裁)が完全に再開することを意味します。



制裁に抵触するリスクを負わずに既存の契約を混乱なく終了できるようにするため、「猶予期間」が2回(90日間と180日間)設定されていました。

90日の猶予期間は2018年8月7日に終了し、180日の猶予期間は2018年11月4日に終了しました。これはつまり、二次的制裁が完全に再開されることを意味します。再開された制裁の具体的な情報についてはGardの[Member Circular No. 6/2018](#)を参照してください。

メンバーが制裁に抵触した場合には、通常、保険カバーや、Gardが提供する支援の内容にも影響が生じてしまうことを改めて強調しておきたいと思います。イランの場合には、適用される制裁体制や取引相手のイラン人・イラン企業がブラックリストに掲載されている可能性があることに加えて、大半の銀行でイラン関連の支払が処理できないという重要なリスク要因があります。このことは、銀行の厳格なコンプライアンス方針の下では、直接的あるいは間接的にイランと関連がある事案については、Gardは何らかの支払をしたり、銀行保証やLetter of Undertaking(保証状)を発行することができない可能性が非常に高いことを意味します。イラン関連の貿易は、たとえ合法であり、ブラックリストに掲載された人物・企業が関与していなくても、このような結果となる可能性が非常に高くなります。

上記の理由により、イランとの貿易は現在非常に困難になっていることから、そうした取引を検討されている場合には、十分なデュー・デリジェンスを実施し、取引の合法性や関係当事者について外部の法律専門家から助言を得ることをお勧めします。

さらに詳しい情報や制裁関連のご質問については、GardのSanctions Consultancy Group ([Consultancy\\_Group\\_Sanctions@gard.no](mailto:Consultancy_Group_Sanctions@gard.no)) もしくはガードジャパン ([gardjapan@gard.no](mailto:gardjapan@gard.no)) までお問い合わせください。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gardは本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されています。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。